

笑顔あふれる学校

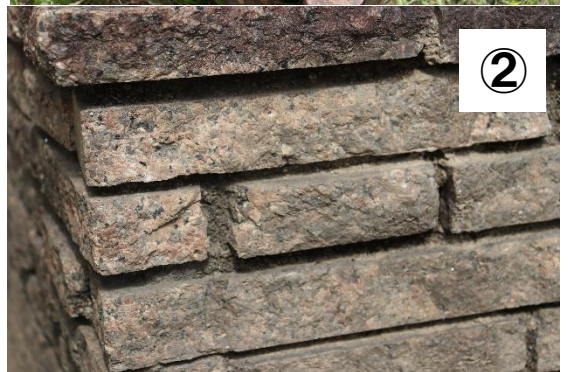
見ているようで、
見ていない・・・。

右の4つの石は、南校舎前の庭にある庭石のほんの一部です。私は岩石・鉱物が好きなので、簡単に紹介します。

- ① 玄武岩・・・マグマが火口（地表）近くで急冷し、固まった火山岩。上から見ると六角形の形をした「柱状節理」が見られる。本校のものは2つに割れてしまっているの
で、残念。山陰海岸「玄武洞」が有名です。
- ② 花崗岩・・・数～10 数 km の地下でマグマがゆっくりと冷えて固まった深成岩。^{みかげ}御影石ともいわれます。本校のものは少しピンク色がかかっているの
で、おそらく岡山県産の「万成石」です。花崗岩の中でも高級です。
- ③ 溶岩（玄武岩）・・・火口で固まった岩石で、黒い鉱物が多いので、これも①と同じ玄武岩だと思われ
ます。①より速く冷やされたので、空気の粒が入っていた穴が無数にあります。でき方が違うだけでがら
っと違います。ちなみに本校の溶岩は、2005 年愛・地球博の際にアイスランドからいただいた溶岩で、
本校に 20 年あります。
- ④ チャート・・・海中にいる放散虫など微生物の殻などが海底に堆積してできた岩石。1cmの厚さ
でも、堆積するまでに何千・何万年とかかり、さらに日本列島に到達するまでに何千万年もかかる。
長い長い時間がかかって、できて運ばれた岩石。ロマンを感じます。褐色、赤色、緑色、黒色など様
々な色のものがあります。

学校に庭石がいくつかあるけれども、子どもは見ているようで、見ていません。見えていないので、岩石が何からできているのか、どうやってできるのか、当然考えていません。それは仕方がないことです。

岩石を例に出しましたが、どんなことでも、そうかもしれません。だからこそ、大人が子どもの世界を広げてあげることが大切なのではないかなと思います。知識（追究）でも、スポーツでも、芸術でも何でもいいです。子どもが興味・関心をもつことを一緒に見つけてあげること、経験（挑戦）することに二の足を踏んでいる子にやさしく声をかけてあげることが大人の役割だと思います。子どもは可能性の塊です。子どもが大きく成長するきっかけを作ってあげませんか。



第1回学校運営協議会



5月26日(火)に、第1回学校運営協議会を開催しました。市教育委員会から委嘱された委員の皆さま(区長、PTA 会長、有識者、知立小おやじの会・青春クラブ(旧老人クラブ)・防災ボランティア・知立まつり関係者など)をお招きし、今年度の学校運営方針や教育活動を説明し、承認していただきました。委員の皆さまから、以下のご意見や質問がありました。

○学校の情報発信が大切。ホームページやきずなネットを活用して、学校の取組やビジョンをもっと積極的に発信してほしい。

○学習用タブレット端末の活用はどう進めているか。

○おやじの会に入ったり、PTA 役員になったりしてから、学校の様子が分かるようになった。保護者の皆さんにも、まずは積極的に学校に関わってもらうことが大切。

○知立小は、地域の熱意、学校の熱意で成り立つ学校だと思った。同じ方向に向くことが大切。

○ボランティアとして学校行事に参加した場合、どこまで関わったらいいか。参加したが、何を手伝っていいか戸惑うことがあった。

○最近、登校途中にあいさつしてくれる子が増えてきた。特に通学班長があいさつできる班は元気なあいさつが返ってくる。これからも「おあさご運動」を大切にしてほしい。

○山車蔵の見学など、地域を題材にして学習に取り組んでいる。連携しようとする姿勢がうかがえる。

その他にも、たくさんの意見をいただきました。いただいたご意見を丁寧に受け止め、生かしていきたいと思います。

知立小学校は、地域に大切にされる学校・地域を愛する子どもを育てる学校づくりを目指していきたいと思います。ご理解とご協力をお願いします。



南校舎来賓玄関前の花しょうぶ 満開です。